

北ガスグループ 2018年度 決算発表

北海道ガス株式会社

2019年4月26日

2018年度決算の概要

連結、個別ともに売上高は2期連続の増収(過去最高額)、
個別で初の1,000億円突破。

経常利益は連結で5期連続、個別で3期連続の増益。

北ガスグループ(連結)

売上高 1,211億74百万円(17.0%増)

経常利益 42億22百万円(45.0%増)

()内は、前年同期比較

北海道ガス(個別)

売上高 1,046億96百万円(19.1%増)

経常利益 28億91百万円(52.4%増)

()内は、前年同期比較

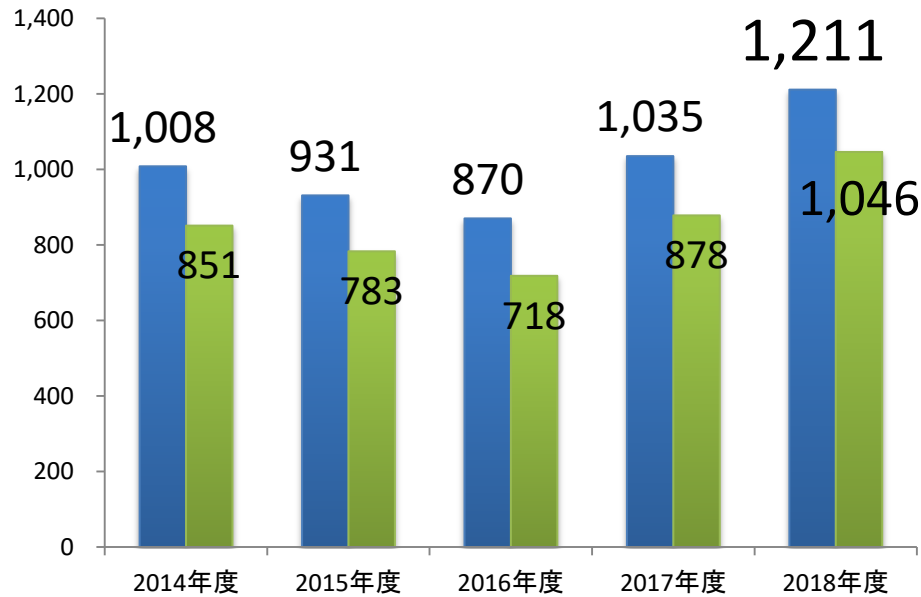
売上高・経常利益の推移

連結、個別ともに売上高、経常利益は堅調に推移。

売上高

億円

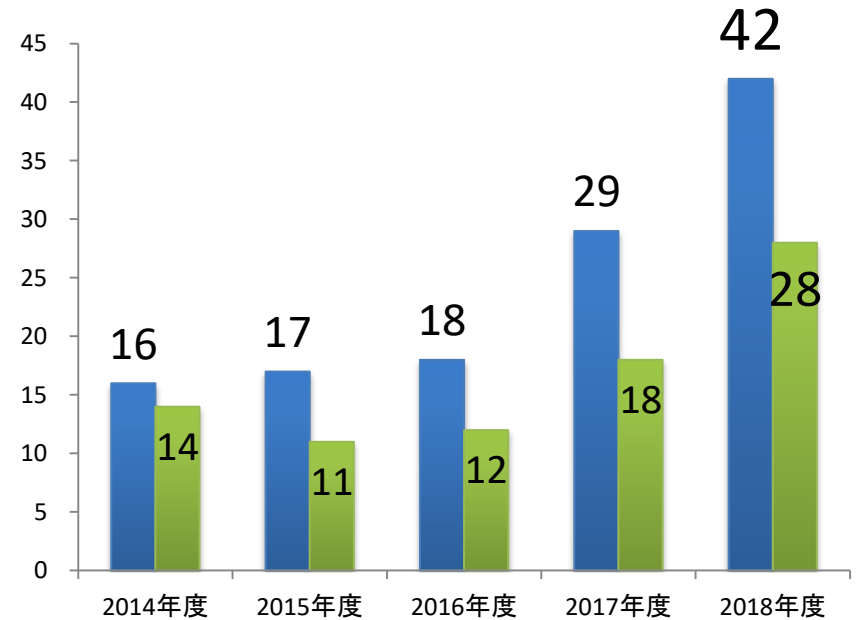
■ 連結 ■ 個別



経常利益

億円

■ 連結 ■ 個別



(総売上高の内訳)

ガス、LNG販売、電力でのお客さま件数の増加などにより、各項目で増収。
 電力事業の売上高構成比が20%を超え、総合エネルギーサービス事業が進展。

単位:百万円

個別

項目	当期	(構成比)	前期	(構成比)	差額
都市ガス	56,997	(54.5%)	51,553	(58.7%)	+5,443
工事・器具	11,817	(11.2%)	10,925	(12.4%)	+892
LNG販売	10,153	(9.7%)	7,955	(9.1%)	+2,198
電力	23,982	(22.9%)	16,464	(18.7%)	+7,517
その他付帯事業 (LPG等)	1,745	(1.7%)	973	(1.1%)	+772
合計	104,696	(100.0%)	87,872	(100.0%)	+16,823

連結

セグメント	当期	(構成比)	前期	(構成比)	差額
ガス (都市ガス、LNG販売)	65,585	(54.1%)	57,358	(55.4%)	+8,226
電力	24,411	(20.1%)	16,858	(16.3%)	+7,553
エネルギー関連 (工事・器具、LPG等)	30,020	(24.8%)	28,479	(27.5%)	+1,540
その他	1,157	(1.0%)	883	(0.9%)	+274
合計	121,174	(100.0%)	103,580	(100.0%)	+17,593

ガス

ガス販売量

気温・震災影響があったものの、
 お客さま件数増により前年比を上回る。
 家庭用は2億m³/年が視野に。

ガス販売量

5億7千8百万m³(前年度比0.2%増)

 (単位:千m³)

		当期	前期	増減	増減率
家庭用		192,537	190,745	+1,792	+0.9%
業務用	商業用	195,226	195,590	▲364	▲0.2%
	工業用	88,450	86,225	+2,225	+2.6%
	公用	54,760	56,143	▲1,383	▲2.5%
	医療用	38,248	40,086	▲1,838	▲4.6%
	計	376,684	378,043	▲1,359	▲0.4%
卸供給		9,263	8,534	+729	+8.5%
合計		578,484	577,322	+1,162	+0.2%

ガス

ガスのお客さま件数 (メーター取付数)

新設増、かつ、ガスをご利用いただく用途が拡大。
2015年度以降、4年連続で新設件数1万件超。6年連続でお客さま件数が純増。

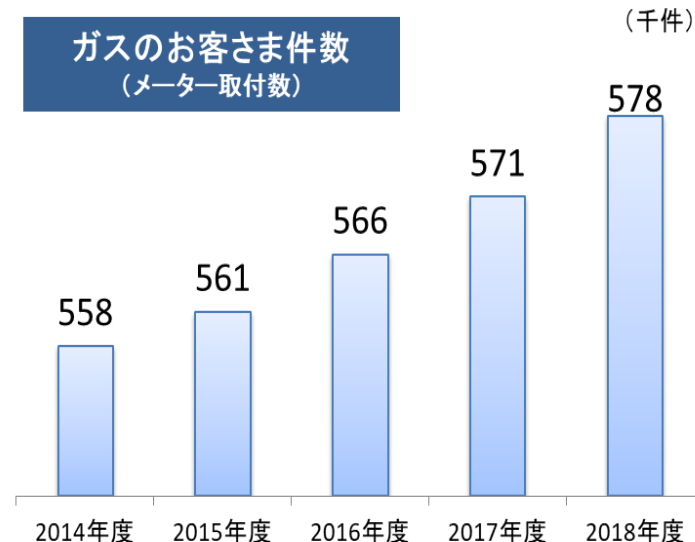
お客さま件数
(メーター取付数)

577,763件 (+6,219件)
(3月末時点契約件数(開栓数): 492,844件)

※()内は、前期末571,544件との比較

(単位: 件)

	新設件数	撤去件数	増減
家庭用	11,757	5,614	+6,143
業務用	866	790	+76
合計	12,623	6,404	+6,219



電力

電力販売量・お客さま件数

道内の全175市町村（離島を除く）、14万件のお客さまとの契約達成

電力販売量

7億9千4百万kWh

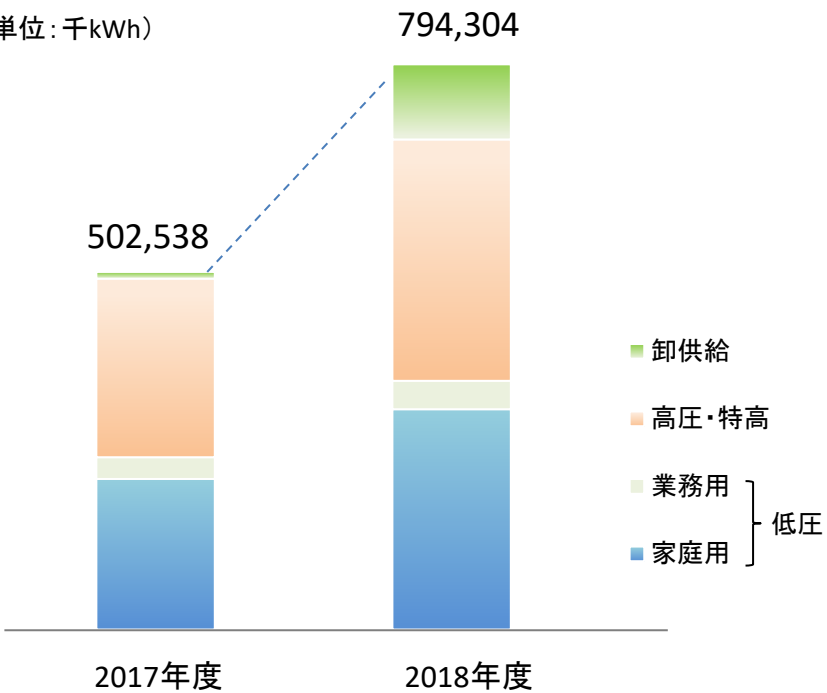
お客さま件数

138,353件（前期末比 +42,334件）

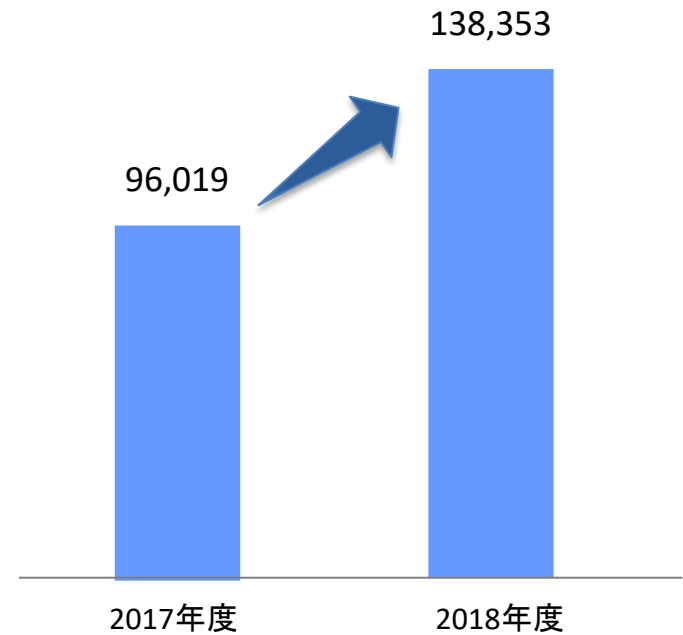
142,728件（※）

（※）
託送CSからの回答待ち
件数、遡及再点件数を
含む、3月末供給件数

（単位：千kWh）



（単位：件）



ガス

主な営業活動状況(家庭用)

- 開発ベースで、13,040件獲得
- 各分野(戸建・分譲集合・賃貸集合)とも「新築」が好調。ガスセントラルヒーティングが増加

戸建

- 「エコジョーズ」(=戸建向けセントラルヒーティング)
 - ・(新築) **5期連続 シェア90% 以上** (※札幌地区ガス管敷設エリア内・当社調べ)
 - ・(新築+既築) **累計 3.5万件突破** → 2020年目標 4万件達成 の見込み
- 「ガスマイホーム発電」(新築+既築)
 - ・「コレモ」「エネファーム」実績 : 前年比 **+6.4%増** (794件獲得)
 - うち、「コレモ」 : 前年比 **+8.4%増** (661件獲得)

分譲集合

- 「Fact」(=マンション向けセントラルヒーティング) (※札幌市内竣工ベース・当社調べ)
 - ・(新築) **5期連続 シェア90% 以上**

賃貸集合

- エコジョーズ・ガス給湯器・暖房機等 (※札幌市内竣工ベース・当社調べ)
 - ・(新築)北ガスグループ(北ガス+北ガスジェネックス)採用 : 前年比 **+19.2%増** (5,494件獲得 **過去最高**)

主な営業活動状況(業務用)

業務用

天然ガス(開発量) 前年比112%

都市エネルギー分野

- 既築物件の燃転: LINKS(お客さまデータの蓄積)を活用し、設備更新期に営業

中小口業務用分野

- 既存物件への巡回、お客さまの店舗利用促進

産業用分野

- 既築物件の大型燃転工事完了
- 設備増強・増設による使用量増加

LNGサテライト供給

天然ガス(開発量) 前年比180.8%

- 新規の獲得、既存のお客さまのボイラー、空調燃転等による増量
- 安定配送、省エネオペレーションのノウハウ等を活かし付加価値で差別化
⇒ 早期10万トンの達成へ

電力

主な営業活動状況(電力)

全道で14万件超のお客さまと契約

お客さまとの接点機会 による提案活動

「北ガスフレアスト」によるお客さま宅でのサービス機会・各種イベントでのPRの実施

業務機会でのPR



お客さま宅訪問・サービス提供機会

各種イベント展開



環境広場さっぽろ (札幌ドーム)



秋のフレアスト祭り (パークホテル)

～「エネルギーと環境の最適化による快適な社会の創造」に向けた、省エネサービスの拡充～

省エネ・各種サービス の拡充

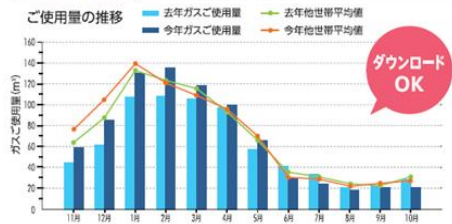
■「TagTag」(*)での省エネアドバイス

(*)北ガス会員制Webサービス

「TagTag」会員数: 34,977名 (2018年度末時点)

■「北ガスポイント」の交換先の拡大

ガスと電気のご使用量・料金照会



「北ガスポイント」を様々なサービスに充当



「ペコママネー」へチャージ



「北ガスグルメチケット」へ交換 (北ガスのガスまたは電気をご利用の登録店で使用可能)

2018年度決算

連結、個別とも増収増益

	連結	個別	主な要因
売上高	1,211億74百万円 (17.0%増)	1,046億96百万円 (19.1%増)	ガス事業:お客さま件数、販売量増、 原料費調整制度による販売単価上昇 電力事業:お客さま件数、販売量増 ※連結売上高の内数
営業利益	40億60百万円 (41.2%増)	29億32百万円 (44.9%増)	ガス事業:原料在庫の影響 電力事業:契約件数の増加と原価低減による増益
経常利益	42億22百万円 (45.0%増)	28億91百万円 (52.4%増)	
当期純利益	35億3百万円 (82.2%増)	29億80百万円 (145.8%増)	石狩LNG棧橋(株)への受入設備の売却

()内は、前年同期比較

連結財政状態・配当

※千万円以下切り捨て。()内は前年期末比増減

	2018年度実績	主な要因など
総資産	1,495億円 (23億円増)	石狩発電所、札幌発電所の投資等
純資産	469億円 (22億円増)	
自己資本比率	30.1% (1.1ポイント増)	
キャッシュフロー 営業活動 投資活動 財務活動	123億円の収入 158億円の支出 18億円の収入	<ul style="list-style-type: none"> ・営業活動による収入を石狩発電所や札幌発電所建設、導管設備等への投資に充当 ・不足分は期首の現預金に加え外部から資金を調達
配当	[上期] 4.5円 [下期] 22.5円	<ul style="list-style-type: none"> ・上期は、1株あたり4.5円 ・10月1日を効力発生日として5株につき1株の株式併合を実施したため、期末配当は22.5円 ※株式併合を考慮しない場合の期末配当は、上期同様4.5円で、年間配当金は前年度より1円増配の9円

2019年度の業績予想

ガス販売量目標

6億16百万m³(対前年6.5%増)

電気目標

累計お客さま件数 17万2千件

北ガスグループ(連結)

売上高

1,300億円

経常利益

42億円

当期純利益

30億円

北海道ガス(単体)

売上高

1,135億円

経常利益

31億円

当期純利益

22億円

2019年度の主な取り組み

～ 「総合エネルギーサービス事業」展開に向けた強靱な基盤整備

「北ガス石狩発電所」



1. ガス事業基盤の強化

- お客さま件数、開発量の増大
- ガスマイホーム発電、業務用コージェネレーションの普及拡大

「ガス導管延伸」



2. 電力事業の推進

- 全道全域での需要の獲得
- 天然ガスと再生可能エネルギーのベストミックスを実現する電源調達・整備

災害に強い
社会づくりへの貢献

3. 北ガス版エネルギーマネジメントサービスの展開

- 「EMINEL」の拡販
- 地域連携
- CEMS (Community Energy Management System)

4. 事業・人材基盤の強化

- 供給防災センター
- 働き方改革、女性活躍推進、健康経営

5. 地域貢献

- 北ガス硬式野球部

「北ガスの電気とどけ隊」



「EMINEL」



～ エネルギーと環境の最適化による快適な社会の創造 ～

1. ガス事業基盤の強化

(1) お客さま件数、開発量の増大

ガス導管延伸営業

- ・家庭用の沿線需要獲得、業務用物件の面的需要開発

2030年度までに
100億円超を投資し、
約330kmを整備



データ活用型営業の強化、新サービスの提案

- ・GHP省エネ・遠隔システムの訴求
- ・飲食店向け「北ガスグルメパートナー」による関係強化



LNGサテライト供給の拡大

- ・エンジニアリング力による付加価値提案
- ・全道全域での産業用以外の分野での需要掘り起こし



(2) マイホーム発電、業務用コージェネレーションの普及拡大

エネファーム、コレモの拡販

- ・BOS機能(ブラックアウトスタート)の提案による営業強化
- ・余剰電力の買取サービス(コレモ)による経済性、環境性を訴求



重要拠点への天然ガスコージェネレーションの提案

- ・強靱性の高い中圧導管を活用し、病院・学校・避難所等へコージェネレーションを導入



2. 電力事業の推進

(1) 全道全域での需要の獲得

接点機会を活用したPRの強化

- ・様々な業務接点機会での営業強化
- ・アライアンスの強化
道内都市ガス事業者を中心とした連携強化



(2) 電源の調達・整備

天然ガスによる自社電源を基盤とした、再生可能エネルギーとのベストミックスによる電源を整備

天然ガスコージェネレーション(自社電源)

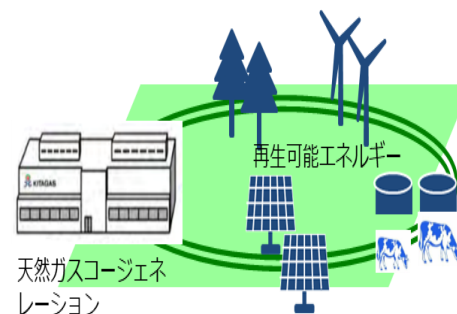
- ・北ガス石狩発電所 → 安定供給、環境性、経済性の向上
- ・北4東6再開発地区「46エネルギーセンター」: 315kW
・4月27日 運転開始
- ・北7東2(札幌市)「札幌発電所」: 7,800kW × 2台
 - ・北ガスグループ本社ビル併設。6月運転開始予定
 - ・「北ガス石狩発電所」と同様のガスエンジン
 - ・発電電力量: 約7,600MWh/年

再生可能エネルギーの導入拡大

- ・卒FITへの対応 等



札幌発電所(天然ガスコージェネレーション)



3. 北ガス版エネルギーマネジメントサービスの展開

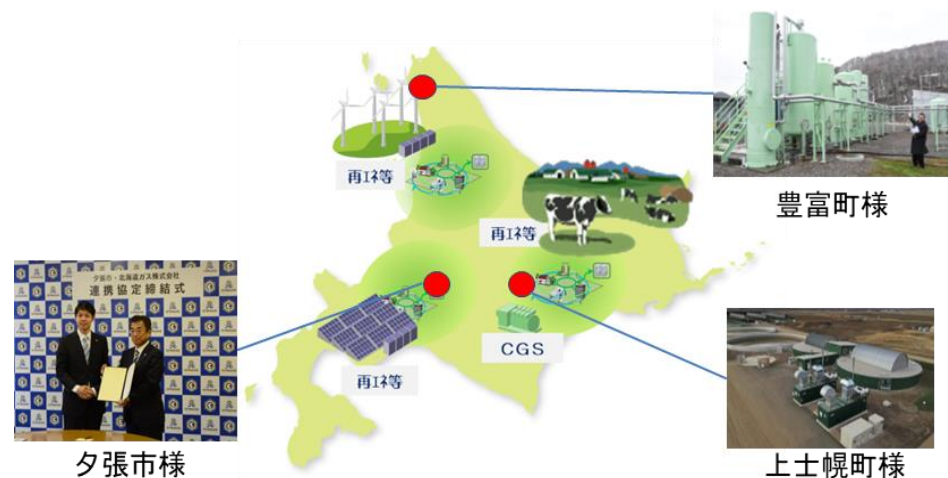
(1) 「EMINEL」の拡販

- ・北海道の暖房利用に着目した、
当社独自のエネルギーマネジメントシステム
- ・拡販に向けて、ハウスメーカー様、施主様への
提案や、エコネットワーク様(ハウスメーカー様の
暖房工事会社)との連携強化
- ・全道各地へ拡大し、2023年度までに1万件へ



(2) 地域連携

- ・道内各自治体とともに、「まちづくり」と一体となった
効率的で環境性・持続性に優れた
「地産地消型エネルギーモデル」を推進
- ・北海道の脱炭素化を推進し、かつ地域活力を向上
- ・地産地消のエネルギーモデルを確立し、
他地域へ拡大



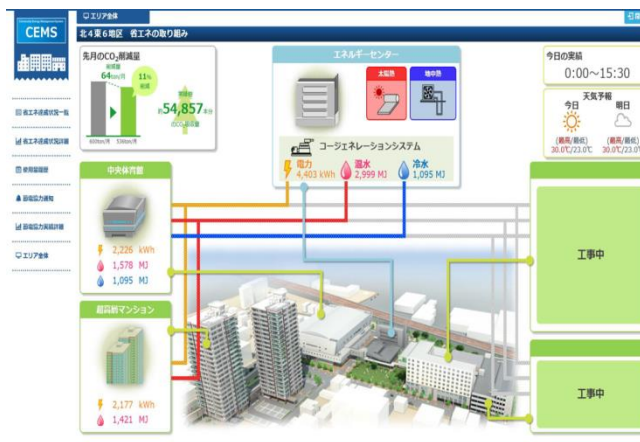
3. 北ガス版エネルギーマネジメントサービスの展開

(3)CEMS(コミュニティ エネルギー マネジメント システム)

- ・天然ガスコージェネレーションに加え、再生可能エネルギーを取り入れたエネルギーセンターより、地区の建物へ熱電供給。災害時もエネルギーを継続供給。
 - ・「CEMS」により、省エネ、ピークシフトを需要側へ積極的に働きかけ
- ⇒ 「省エネ・低炭素」「強靱化(レジリエンス)」「エネルギーネットワークの最適化」を図る

北4東6周辺地区再開発

- ・スマートエネルギー事業(4月27日運転開始)



エネルギーセンター

CEMS(コミュニティエネルギーマネジメントシステム)

新さっぽろ地区再開発

- ・北4東6でのスマートエネルギー事業の知見を活かし、エネルギーセンターを建設 (2022年7月運用開始予定)



再開発地区完成イメージ

4. 事業・人材基盤の強化

(1) 災害対応力の強化

供給防災センターの稼働開始

- ・6月10日(月)より稼働開始予定(北ガスグループ本社ビル)
- ・全地区、全時間帯の「保安・供給・防災」に関する指令機能を集約
- ・厳冬期の夜間・休日等のシビアコンディション下でも、全地区の緊急対応を自立的に実行

高い耐震性能を確保し、
かつ、札幌発電所を併設した本社ビルの「業務棟」に
「供給防災センター」「コールセンター」「システム部門」を集約

↓
災害対応力、事業継続性を飛躍的に向上



北ガスグループ本社ビル完成イメージ

(2) 人材基盤の強化、安全かつ効率的な業務遂行に向けた環境整備

働き方改革

女性活躍の推進

健康経営

- ・3つの取り組みを推進し、北ガスグループ全体の人材育成、組織力を向上させる



北ガスグループ作業服のリニューアル

- ・26年ぶりに全面リニューアル
- ・安全面、機能面を向上させ、安全かつ効率的に業務が行える環境を整備



新作業服イメージ

5. 地域貢献

○ 硬式野球部の活動

- ・地域とつながり、スポーツ・文化の振興、地域のさらなる活性化に貢献

地域と北ガスグループの成長エンジンへ

- ・道内各地で「少年野球教室」を開催予定
(2018年度は、札幌で2回、函館で1回開催)

- ・2019年度スローガン



超成長～北の青い炎となれ
2019 “Breakthrough” **猛進**

4月に7名の新人を加え、部員22名、
スタッフ6名、計28名で活動中。
5年以内の全国大会出場を目指す

◇北ガス野球部サポーターズクラブ会員 : 2,184人 (2019年3月末)



<2019年度の公式戦(予定)>

- ・5月 第90回都市対抗野球 北海道地区予選
- ・6月 第61回JABA北海道大会
- ・8月 第71回JABA北海道社会人野球結成記念大会
- ・9月 第45回社会人野球日本選手権 北海道地区予選